

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

1 会議名	岐阜総合学園高等学校 学校運営協議会 (第3回)	
2 開催日時	令和8年1月28日(水) 13:00~15:20	
3 開催場所	岐阜総合学園高等学校 会議室	
4 参加者	会長 神谷 政人	(社)中部地域づくり協会
	副会長 熊田ますみ	平成医療短期大学 教授
	委員 山岸 勇幸	須賀地区兼須賀東地区自治会長
	長屋 恒一	同窓会会长
	菊池 啓子	中部学院大学短期大学部教授(欠席 書面にて)
	渡邊 優子	PTA役員(副会長)
	山本由希子	PTA役員(副会長)
学校側	片岡 潤子	校長
	加藤めぐみ	事務部長
	古家 幸司	教頭
	黒井 昌和	教頭
	福井 恵梨	総合企画部長
	川口 智慎	教務主任
	大野 壮太	生徒指導主事
	柳瀬 智裕	進路指導主事

5 会議の概要(協議事項)

(1) 令和7年度 教育活動の自己評価、各分掌の取り組みについて

意見1：校長先生の指示のもと、それぞれの分掌の先生が、総合学園らしい活動を目標として、取り組んでいることがわかる内容である。

意見2：今後の課題としては、ポートフォリオ形式で自分達の目標を形で残すと、生徒が成績等を振り返り易くてよい。

意見3：貴校の生徒の身だしなみや態度が素晴らしいのは生徒指導の成果である。

意見4：岐阜県下の高校として、知名度は高くなり、積極的な活動が評価されている。今後は文武両道の生徒の増加が目標となる。高校としては文武両道であるが、本来はひとりひとりの生徒が両方を達成できることが重要である。

意見5：地域と関わりを持つフィールドワーク活動が盛んになり、協働性・実践的な力が付く一方で、その分、基礎学力をつけるための時間が確保できるかが課題である。

意見6：対話的な活動が苦手な生徒もいるので、気にかけてほしい。

(2) 各分掌の今年度の取り組みと反省について

意見1：貴校の生徒だけではないが、ヘルメット着用をはじめ、自転車のマナー等の指導を引き続きお願いしたい。

意見2：ゆうやけコンサートについて、素晴らしい取り組みなので、もう少し早い段階でパンフレットを配布してほしい。

6 会議のまとめ

自己評価報告書について、全委員より今年度の取り組み、その評価に対する承認を得た。また、総括して、「岐阜総合学園高校として今後も、今のような取り組みを続けてほしい。」との評価を得た。一方、遅刻が増加していることに対して、「生徒が遅刻をしてはいけない！」と意識付けできるような指導をしてほしいとの要望もあった。遅刻に関しては、社会において必要な資質であるので、熟慮のうえ指導していきたい。